

関係各位 様

呼びかけ人 久留米リハビリテーション病院 柴田 元
ワンルームリフトケア研究会 齊場三十四
北部九州域テクノエイド研究会準備会 山本 耕之
(印略)

Hygge構想とテクノエイド研究会のご案内

介護保険時代、なんとなく不安がつきまとう時代です。高齢・少子化社会に、地方では、コンパクトシティを整備する方向のみでは、活き活きした生活を確保できるのかという疑問が膨らみ、今日的・人的介護主体ではない対応を含め、新しいシステムを思慮すべき時代だと考えるようになりました。

そんな中、リフトケアを推進しようと北部九州域企業連携構築と久留米リハビリテーション病院の出会いの中でワンルームリフトケア研究をはじめました。

生活支援の新機軸を求めた結果、久留米リハビリテーション病院のある久留米市山本地域の方々にも参加をよびかけ、町づくりの検討と準備を進めてきました。

デンマーク・北欧に学ぶ、ゆったり、のんびりの地域づくり「Hygge(ヒュッゲ)」構想としてまとめ、この度、病院隣地に、地域共生コミュニティ拠点整備として、リハビリテーションシェアHouse(共生型通常アパートメント)と地域コミュニティカフェを第一エリア、障害者就労継続支援B型施設と高齢者元気デイ施設、病院託児所の移転併設も含めた施設を第二エリアとして整備を進めることができました。

その結果、本年、四月からHygge(ヒュッゲ)構想に基づく、施設設備運用の予定の目途がたちましたので、下記要領で、Hygge(ヒュッゲ)構想のご紹介、建物内覧会などのご報告を含め、今日的課題である次世代の生活支援と技術支援をテーマに、テクノエイド研究会も合わせて開催することになりました。是非、皆様におでかけ頂けますようご案内いたします。

記

日時 平成31年3月17日(日)10時00分～17時00分迄 受付開始9時45分

場所 久留米シティプラザ5階大会議室(久留米市六ツ門町8-1)

内容

※参加料は無料

午前の部

am10.00 テクノエイド研究会開催挨拶

am10.05 研究発表

①「訪問リハビリにおける環境調整」

坂田 猛 (久留米リハビリテーション病院理学療法士)

②「高位頸髄損傷患者に対する自宅退院支援-福祉機器を活用して-」

宮原賢司 (久留米リハビリテーション病院理学療法士)

③「電動車椅子Whill(ウィル)評価-臨床所見からの問題点抽出-」

松田淳平他 (久留米リハビリテーション病院理学療法士)

④「移乗支援機器の開発」

大神優佳 (久留米工業大学工学部機械システム工学科)

⑤「最近の研究開発速報-QOL支援を目指して-」

松田鶴夫 (北九州市立大学環境技術研究所教授,理化学研究所客員研究員)

⑥ 仮題「筋電刺激による筋肉トレーニング」

Am12.00 昼食

午後の部

- pm13.00 開催主催者挨拶 柴田元 (久留米リハビリテーション病院/理事長)
- pm13.05 記念挨拶 村尾俊明 (テクノエイド協会元常務理事)
- pm13.15 記念講演
テーマ 「地域を支える—これからの福祉用具の役割」
講師 国際医療福祉大学院 福祉支援工学分野
教授 東畠弘子
- pm14.30 最新福祉事情—Denmark研修報告
①内之浦真士 久留米リハビリテーション病院理学療法士
②桑野博文 久留米リハビリテーション病院MSW
- pm15.00 シンポジウム
テーマ 「地域で生きる」
—生活・介護スタイルを変える技術支援の活用—
座長 渡邊慎一
横浜市総合リハビリテーションセンター地域リハビリテーション部々長
(厚生労働省老人保健局参与)
シンポジスト
①宮原賢司 久留米リハビリテーション病院理学療法士
②阿南貴将 (株)あわや大分中央営業所々長
③齊場三十四 久留米リハビリテーション病院福祉施設準備室長
(佐賀大学名誉教授)
- pm16.30 Hygge 構想と今回の拠点整備状況のご報告と内覧会のご案内
- pm16.55 閉会の挨拶
- pm17.00 閉会

※久留米シティプラザの駐車場は少ないので、周辺のパーキングを御利用下さい。又は、バスなど公共交通機関を御利用下さい

実行委員会 久留米リハビリテーション病院
ワンルームリフトケア研究会
北部九州域テクノエイド研究会準備会
担当:宮原、内之浦、桑野
TEL/0942-43-8033

Hygee & Technical Aid